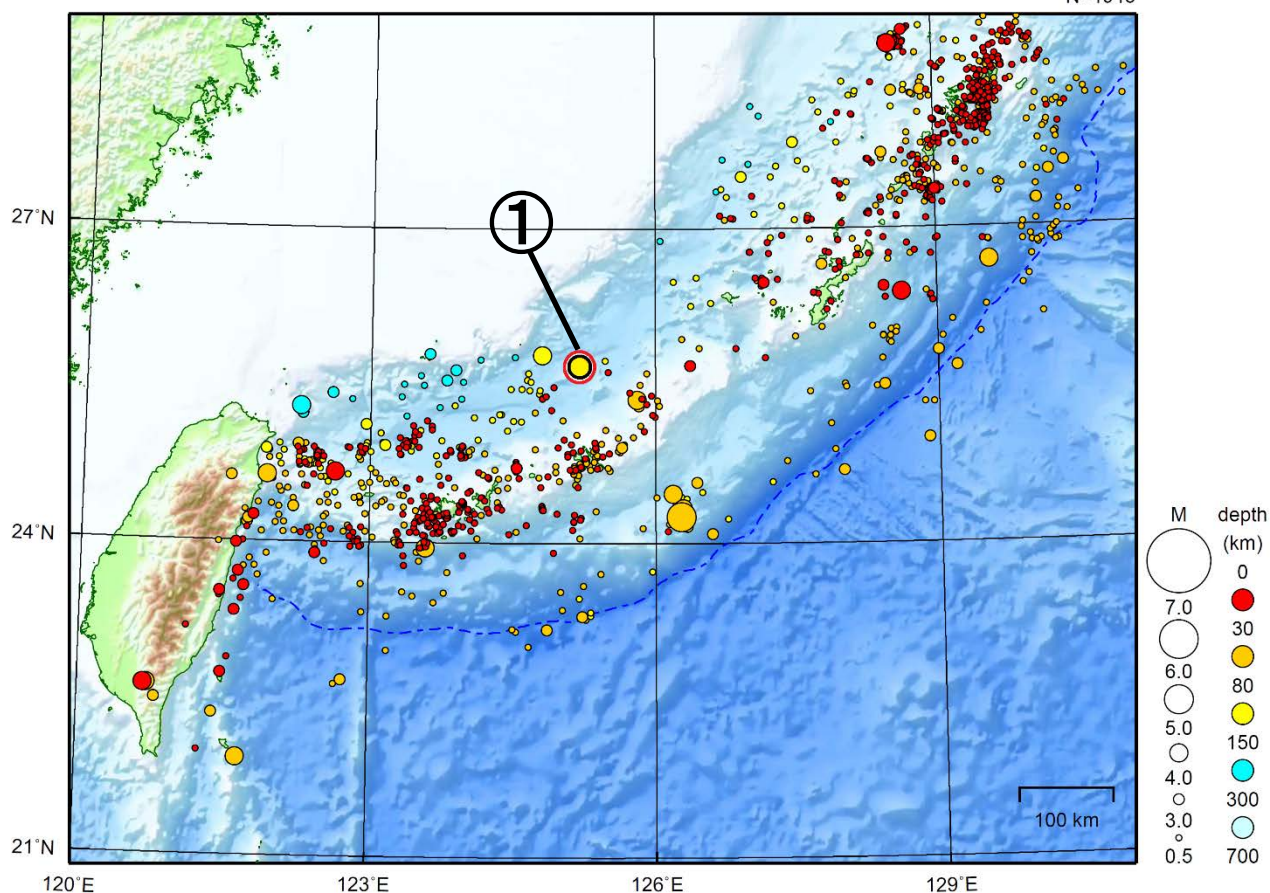


沖縄地方

2017/06/01 00:00 ~ 2017/06/30 24:00

N=1945



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 6月30日に宮古島北西沖の深さ98kmでM5.2の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

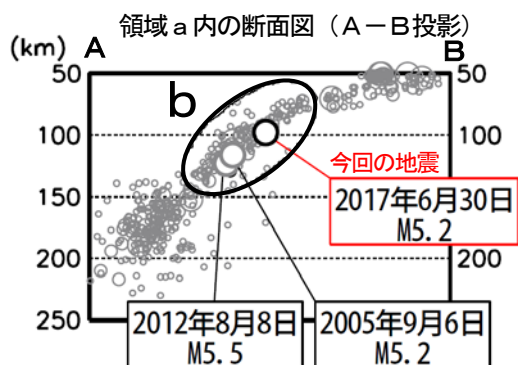
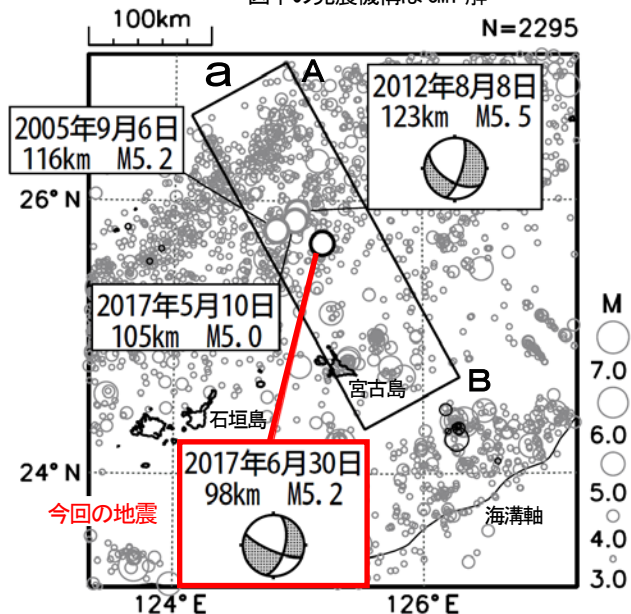
6月30日 宮古島北西沖の地震

震央分布図

(2000年7月1日～2017年6月30日、
深さ 50km～250km、 $M \geq 3.0$)

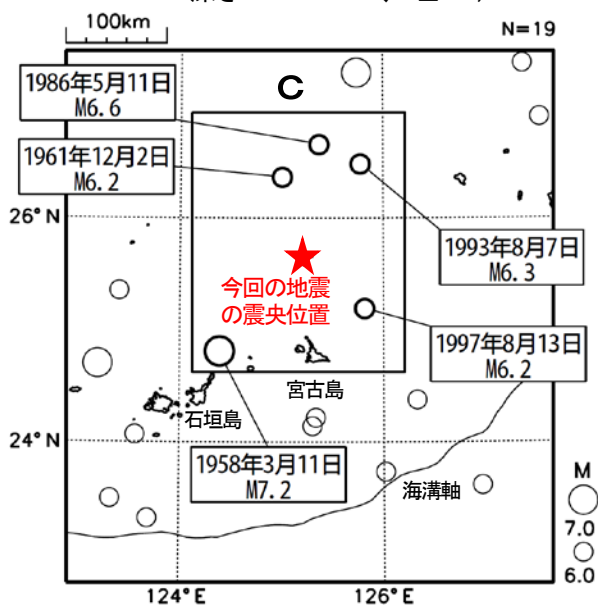
2017年6月の地震を濃く表示

図中の発震機構はCMT解



震央分布図

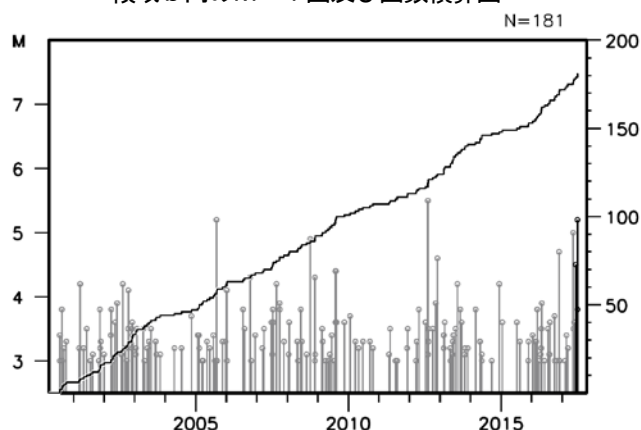
(1923年1月1日～2017年6月30日、
深さ 50km～250km、 $M \geq 6.0$)



2017年6月30日23時04分に宮古島北西沖 (宮古島の北約100km) の深さ98kmでM5.2の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

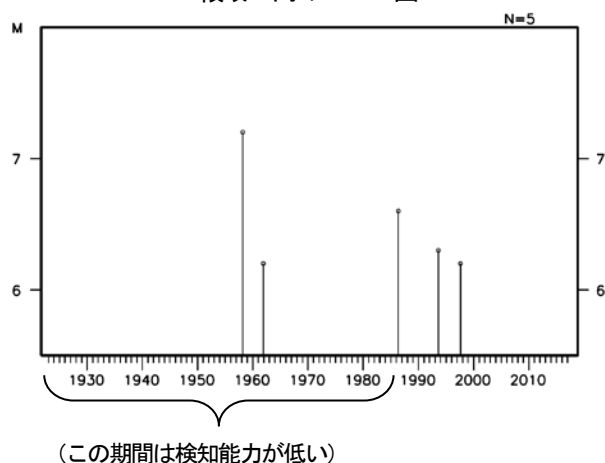
2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1958年3月11日にM7.2の地震 (最大震度5) が発生し、石垣島と宮古島で死者1人、家屋破損、道路、護岸などの陥没・決壊などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。

領域c内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)